

# 熊野町議会災害対策特別委員会を設置

8月22日の臨時会において、「平成30年7月豪雨による災害を踏まえ、自然災害発生時に議員間において被災状況等の情報を共有し、住民の安全・安心の確保等、熊野町の将来に向けたまちづくり」に資することを目的に、「熊野町議会災害対策特別委員会」の設置について発議され、全会一致で可決されました。

その後、委員長に荒瀧議員、副委員長に片川議員が互選されました。

## 熊野町議会災害対策特別委員会の開催

9月6日に第1回目の「熊野町議会災害対策特別委員会」を開催し、今後の委員会の進め方について協議を行いました。また、「熊野町議会における災害発生時の対応要領」を策定し、9月11日開会の第4回熊野町議会定例会（9月）において委員長が報告を行うこととしました。

## 熊野町議会における災害発生時の対応要領

### 要領の概要

#### ○目的

熊野町において大規模な災害が発生したときの熊野町議会及び熊野町議会議員の対応等を定めることにより、熊野町災害対策本部と連携し、被害の拡大防止、被災者の支援及び災害の復旧に寄与することを目的とする。

#### ○連絡会議

災害の発生等により町対策本部が設置された場合において、これと連携し災害対応に協力・支援等を行うために必要と認めるときは、熊野町議会災害対応連絡会議を設置することができる。

#### ○連絡会議の構成

連絡会議は、議長、副議長、各常任委員会委員長をもって構成する。

#### ○連絡会議の任務

- ・議員の安否確認
- ・町対策本部から災害情報を収集し、議員に情報提供を行うこと
- ・議員から災害情報を収集、整理し、町対策本部に情報提供を行うこと

#### ○議員の対応

- ・自らの安否及び居所又は連絡場所を連絡会議に報告し、連絡体制を確立すること
- ・連絡会議から情報提供を受け、地域の災害対応に資すること
- ・被災地、避難所等の状況について、必要に応じて連絡会議へ報告すること
- ・被災地における救援活動に協力すること
- ・被災者に対する相談又は助言を行うこと

#### ○議会事務局の対応

- ・事務局長は、町対策本部の会議等に参加し、情報収集に努めるとともに、連絡会議に情報提供すること
- ・事務局職員は、連絡会議の事務に従事すること

## 豪雨災害による被害状況を確認

### ～産業建設委員会～

9月21日に産業建設委員会を開催し、建設部及び水道部が所管する次の施設等における「7月豪雨災害による被害状況」等について説明を受けました。

- ため池、水路、農道、林道等の農林業施設
- 農地
- 小規模崩壊地
- 道路や河川などの公共土木施設
- 上下水道施設
- 町内の主な通行止か所 など

説明の後、「被災した施設の復旧スケジュール」や、「上下水道施設の災害を想定した検査・調査」などについて質疑を行いました。

また、豪雨災害による被害の大きかった「串掛林道」と「三谷川」の現地視察を行い、被害状況について確認しました。

今後、当委員会の所管事務分野において、被災状況等の調査・研究を行い、町民の安全と利便性の向上のため、積極的に取り組んでいきます。



串掛林道の被害状況を確認



三谷川の被害状況を確認

## 読みやすく興味が湧く議会だよりを目指して

### ～議会広報特別委員会～

### 議会から町民の皆さんへの情報発信！

7月3日と4日、町村議会広報コンクールで奨励賞等を受賞するなど、優れた取り組みを行っている、広島県神石高原町議会と鳥取県日吉津村議会を次の調査目的で訪問し、多くのことを学びました。

#### 【調査目的】

- 議会審議紙面の内容充実
- 一般質問ページの編集方針
- 住民参加ページの取り組み内容

#### 【学んだこと】

- 表紙の写真は表情の分かるものに。視覚的興味を高める。
- 一般質問は分野別ではなく、1議員1ページが望ましい。
- 町の広報誌との重複は避ける。
- 「見出し」と「小見出し」の工夫を。
- 簡潔明瞭な文章とする。
- 写真と空白を活用する。
- 方言の活用。親しみやすいものにする。
- 住民参加。 など



神石高原町の議会広報常任委員の皆さんと質疑を行いました。

今後も研修を重ね、分かりやすい議会だよりを作成し、皆さんに議会の情報をお知らせします。